

各位



2023年6月21日

会社名 東京ラヂエーター製造株式会社
代表者名 代表取締役社長 落合 久男
(コード番号 7235 東証)
問合せ先 管理本部本部長 矢野 和彦
(TEL.0466-87-1231)

中期経営計画「TRS Vision-2025」進捗状況に関するお知らせ

当社は中期経営計画「TRS Vision-2025」(2021年度～2025年度)を2021年5月31日に公表いたしました。その進捗状況についてお知らせいたします。

1. 中期経営計画の策定背景

100年に一度と言われる自動車業界の変革期において、この変化に対応し、さらに企業価値を高めていくため、当社は2021年5月に、5年間の中期経営計画「TRS Vision-2025」を策定いたしました。

10年後のありたい姿・あるべき姿として「2030年 モノづくり力で業界トップレベル」を定め、5年後のあるべき姿を中期経営計画ビジョン「変わる」「応える」「高める」として策定しています。

この中期経営計画ビジョンを実現する為の5つの戦略として、事業戦略としての「製品戦略」「グローバル戦略」「成長戦略」、生産基盤戦略としての「スマートファクトリー戦略」、組織基盤戦略としての「人財戦略」を策定しています。

2. 中期経営計画の進捗状況

中期経営計画に掲げた5つの戦略について、別紙1および別紙2のとおりお知らせいたします。

以上

(別紙1)

中期経営計画に掲げた5つの戦略についての進捗状況は下記のとおりとなります。

1. 「製品戦略」

製品性能および品質を高め、コスト競争力のある新型製品の開発を行ってまいりました。

その活動が実を結び、新型ラジエーターは2023年度より市場投入を開始し、新型EGRクーラーは2024年度より市場投入いたします。

新型インタークーラーにつきましては、海外で2022年度より市場投入を開始しております。

2. 「グローバル戦略」

海外拠点の稼働率向上に関しまして、2025年度に85%という目標値の達成に向けて、活動を継続しております。2025年度で海外売上高比率を30%以上とする目標値に対し、2023年度の事業計画における海外売上高比率は26%に達する予定です。

3. 「成長戦略」

2025年度に、New Energy Vehicle向けに新たな製品を開発し量産開始する計画でしたが、環境対応に関する市場動向が想定より早まった背景などあり、燃料電池車向けに新たに開発したラジエーターを海外のお客様向けに2022年度より市場投入を開始しております。

国内においても、電気自動車向けラジエーターを2023年度中に市場投入を開始する予定です。

4. 「スマートファクトリー戦略」

競争力向上と省エネを両立させた工場の改善を進めております。

新規ライン設定をとおして、人に頼らない品質保証アイテムを多数採用し、作業負担軽減を図るべくIoTを駆使した自動監視システム等の採用を進めております。

5. 「人財戦略」

エンゲージメント・サーベイを海外子会社含め実施しており、定量的に実態を把握し、エンゲージメント向上のための諸施策を実行しております。

また、中期経営計画ビジョンを元に、行動指針である「TRS WAY」の見直しを行い、全ての従業員に向けた浸透活動を行っております。

「中期経営計画 計数目標」

2023年度では、連結売上高330億円、営業利益率2.7%を目指していく事を公表しております。

中期経営計画における最終年度の目標値である2025年度 売上高335億円に向けては、円安効果等もあり順調に推移しております。2025年度 営業利益率5%の達成に向けては、引続き中期経営計画「TRS Vision-2025」で掲げた5つの戦略を着実に実行する事で達成を目指してまいります。

以上

(別紙2)

進捗状況について (23年6月末時点)

東京ラヂエーター製造株式会社

中期経営計画

TRS Vision-2025

2021年度～2025年度

2023年6月

証券コード：7235

「あるべき姿」 2030年 モノづくり力で業界トップレベル

TRSは 変わる・応える・高める

1.製品戦略

2.グローバル戦略

3.成長戦略

事業戦略

4.スマートファクトリー戦略

生産基盤戦略

5.人財戦略

組織基盤戦略

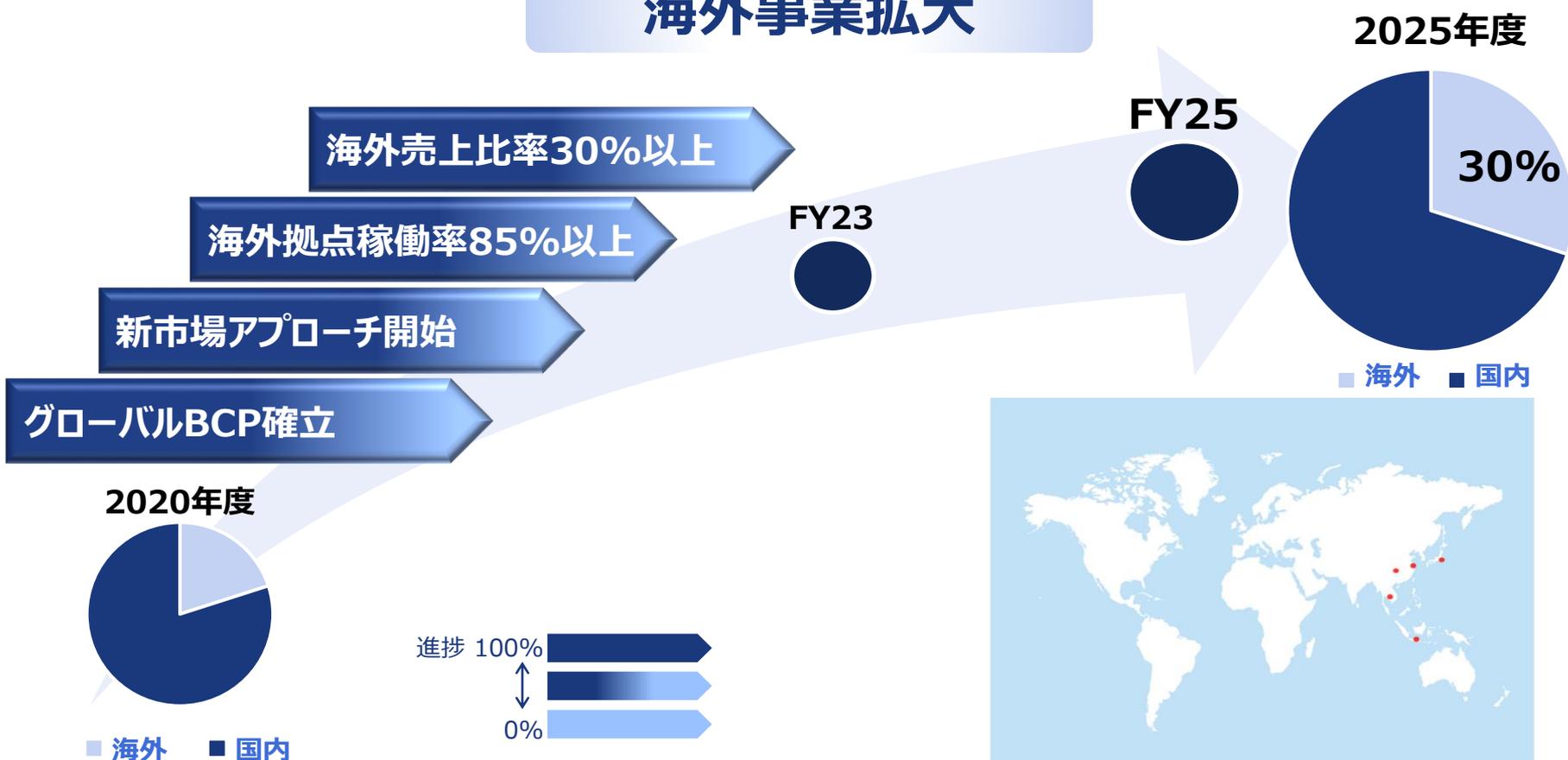
新型製品開発



【現行製品の更なる進化】

- 製品軸（プロダクトダイレクター）体制に基づく製品戦略の策定と実行
- 海外拠点および本社機能軸と連携した、製品競争力向上と拡販の実行

海外事業拡大



【海外事業の進化】

- 海外拠点の生産能力を最大限活用し、現行マーケットの競争力を向上
- 新たな市場へ参入



次世代製品事業化

製品ポートフォリオ変革

量産品納入

試作品納入

顧客・他社との連携

戦略立案・基礎開発

FY23

FY25



【新たな時代のモビリティに対する新製品開発】

- カーボンニュートラル社会の実現に向けて、NEV用熱交換器製品を開発し、次世代事業の柱へ
- *NEV : New Energy Vehicle

魅せられる工場



ゼロライン実現

革新工法ラインの具現化

倉庫管理システム導入

IOT導入による見える化

人に頼らない工程保証

綺麗で見通し良い工場

FY23

FY25

進捗 100%

0%



【災害・故障・不良・在庫・無駄 ゼロラインの構築】

- スマートLogistics (情報とモノの整流化・同期化)
- スマートTechnology (技術革新)
- スマートGenba (ダントツ現場力)

でモノづくり力を高める

高いエンゲージメント



エンゲージメント向上

FY23

行動指針の進化

エンゲージメント向上施策

新エンゲージメントサーベイ開始



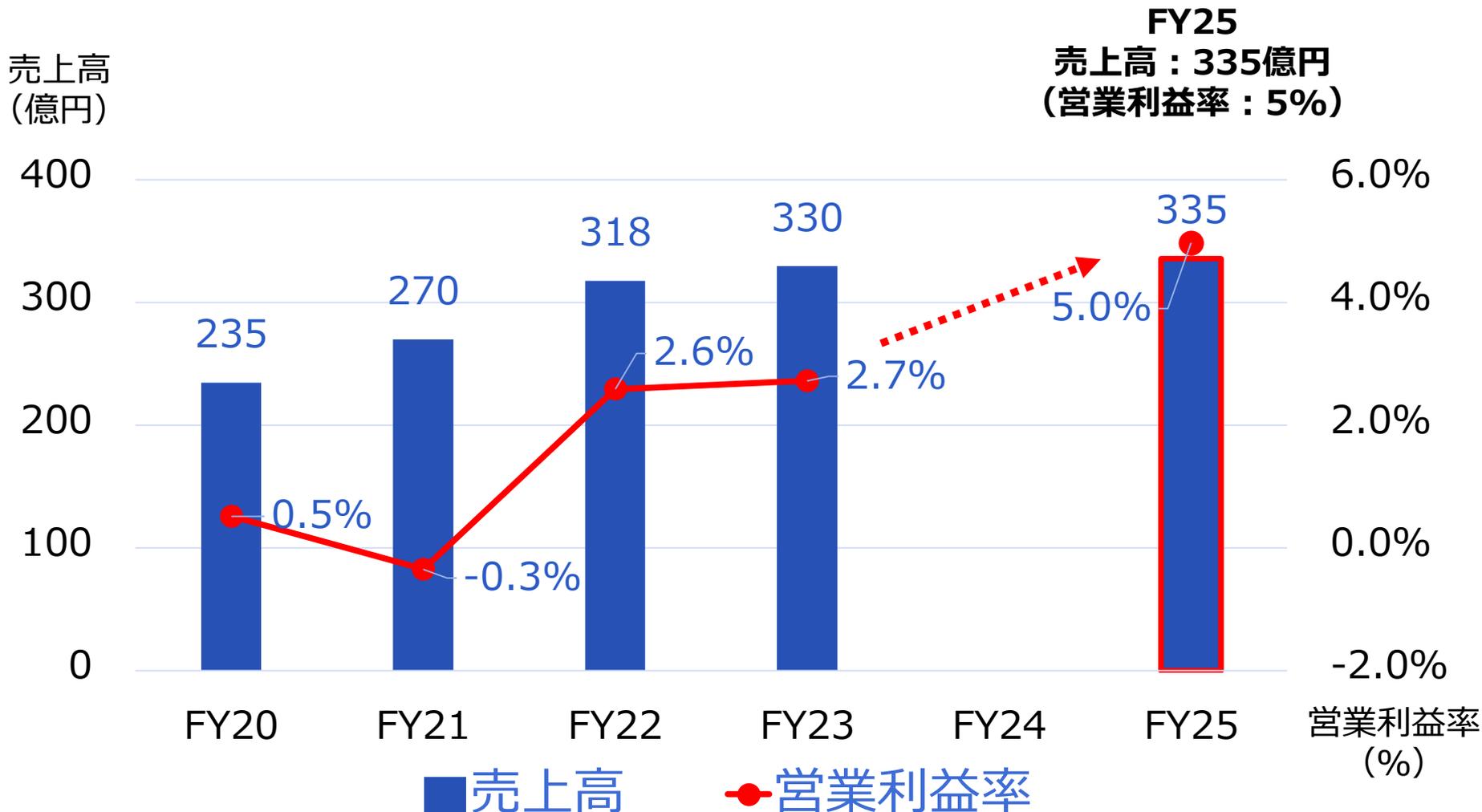
FY25



【エンゲージメント向上】

- 中計ビジョンを全てのグループ社員と共有し従業員エンゲージメントを高めながら中計ビジョンを達成

『TRS Vision-2025』 計数目標



FY20~22：実績

FY23：事業計画値

FY25：中期経営計画目標値

* 売上高：企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」適用後売上高